

農業法人で働く人たち

— 有限会社 トロピカルファームたまぐすく（沖縄県）の新垣直樹さん（31） —

○「有限会社 トロピカルファームたまぐすく」の概要

本社所在地	沖縄県南城市玉城志堅原33番地
代表者氏名	代表取締役 大城 浩明 氏（58）
主な経営内容	果樹、畑作、観光農業（パパイヤ、島バナナなど）
年間売上げ	8千800万円
構成	10人（役員3人、正社員2人、パート5人）
法人設立	2002年
経営の特色	無農薬栽培、直売所「花野果村」、農産加工（パパイヤ牛乳、パパイヤソース、沖縄おやきなど）、農業体験等の受入

《新垣直樹さんの略歴》

同県那覇市出身の31歳。前職はデスクワーク。「農の雇用事業」の研修生（正社員）として09年6月に入社。将来は無農薬・有機栽培での専業農家を目指している。就業するまで農業経験はなし。10年、日本農業技術検定3級に合格。

《就農・入社のかきかけ》

ガーデニングを始めたことがきっかけで、農業という仕事に魅力を感じるようになっていた。ドライブ中にたまたま立ち寄った直売所「花野果村（はなやかむら）」で、求人募集を知り入社した。

《仕事について》

農場担当主任として、畑仕事全般を担当する他、加工や販売の仕事も行っている。「自分が育てた作物で『おいしかった』と言ってもらえるのがすごい励みになります。就業当初は戸惑うことも多かったんですが、これまでの仕事より充実感は大きいです。将来、独立して花野果村に出荷するのが夢です」と笑顔で話した。



大城社長（右）より指導を受ける新垣さん

◆事務局便り◆

沖縄県農業法人協会の会長を務める大城社長は、経営理念に「地域との共存共栄」を掲げています。従業員を採用する際にも、その点に同意することが前提条件となっています。新垣さんも「地域のためにという考えは、自分にとってもモチベーション」と話します。

労使関係は非常に円滑で、大城社長は「どんなに疲れていても手を抜かない」と評価し、新垣さんは「理想の職場」と絶賛しています。